**AWS** 

5 U M M I T

# AWS の運用監視入門

Amazon CloudWatch

技術統括本部 ソリューションアーキテクト 藤倉 和明 2017年6月2日



#### 本セッションのFeedbackをお願いします

受付でお配りしたアンケートに本セッションの満足度やご感想などをご記入くださいアンケートをご提出いただきました方には、もれなく素敵なAWSオリジナルグッズをプレゼントさせていただきます



アンケートは受付、パミール3FのEXPO展示会場内にて回収させて頂きます

#### 自己紹介

藤倉 和明 (ふじくら かずあき)

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 エンタープライズソリューション部 ソリューションアーキテクト



- Amazon Virtual Private Cloud (VPC)
- Amazon CloudWatch



### 本日皆様にお持ち帰りして頂く内容



運用をもっと簡単に



夜ぐっすり眠れる運用体制へ



運用もスケーラブルに



#### 本セッションについて



- 想定するオーディエンス
  - オンプレミス、クラウド問わずシステム運用をしている人
  - システム運用、監視に課題を感じている人
- セッションの概要
  - フルマネージド運用監視サービス Amazon CloudWatch を中心とした、クラウドの運用についてご紹介

# クラウドの運用



# AWSのクラウド運用



・コスト最適化

**Well Architected** 





- 監視
- ・ログ管理







標準化





クラウド運用



- API管理
- 監査





- 構成管理、変更管理
- コンプライアンス強化



# AWSのクラウド運用

#### 今日はここを中心に



・コスト最適化

**Well Architected** 





- 監視
- ログ管理
- 自動化





標準化 テンプレート



クラウド運用



- API管理





構成管理、変更管理



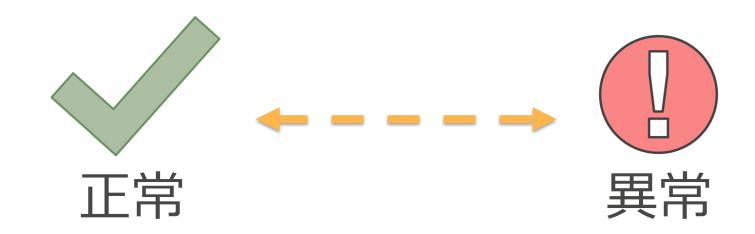


# システム監視とは

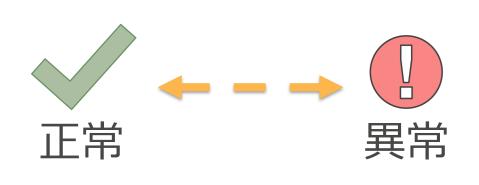




# システム監視とは

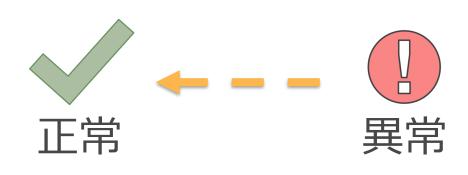


### システム監視とは



- 「正常な状態」を定義
- 「異常な状態」を定義
- その状態の変化

#### 障害対応:「異常な状態」を「正常な状態」へ

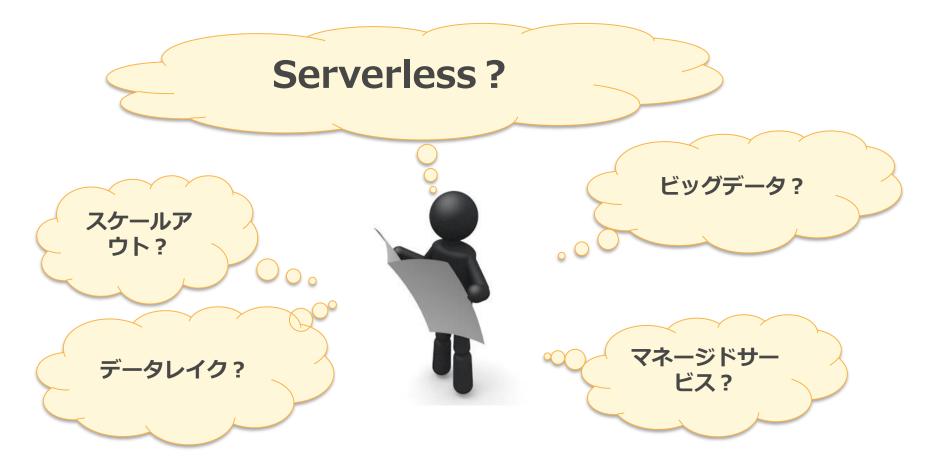


障害対応は重要な「運用」

• 予め決まっている対応

- 不測の事態
  - まずは落ち着いて
  - 一時復旧、根本対応
  - 再発防止

### クラウドにおける「正常」「異常」とは?



AWSクラウドにおけるシステム運用監視は CloudWatchが最適!



#### Amazon CloudWatchとは

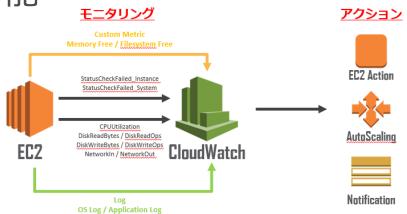


#### AWSの各種リソースを監視する**マネージドサービス**

- セットアップ不要
- 正常な状態を継続的に監視
- 異常な状態の検知と、自動的な復旧をサポート
- 各メトリックスをベースとしたアラーム(通知)、アクションの設定が可能

### 多くのAWSサービスの監視が可能

- Amazon EC2
- Amazon EBS
- Amazon RDS
- Elastic Load Balancing など

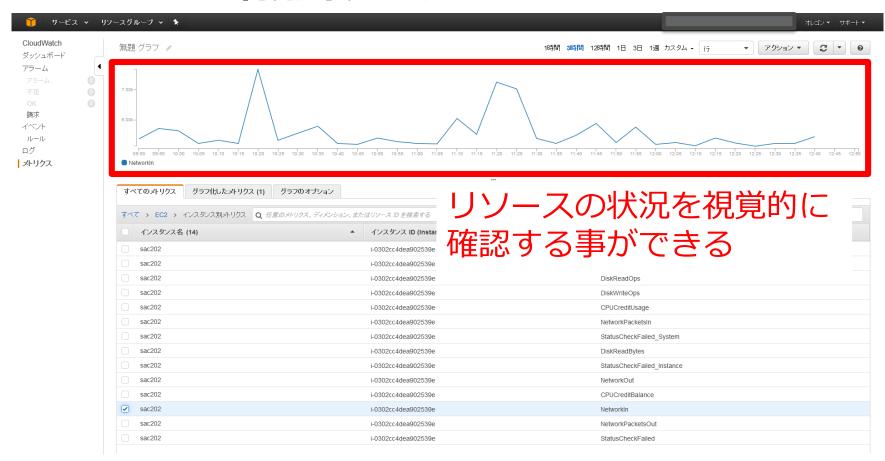


# Amazon CloudWatchのできる事



- CloudWatch
  - システム監視サービス
    - ✓ 死活監視 / 性能監視 / キャパシティ監視
- CloudWatch Logs
  - ログ管理プラットフォームサービス
    - ✓ EC2上のOS, APPのログ
    - ✓ AWSマネージド サービスのログ
- CloudWatch Events
  - AWS上リソースの状態監視サービス
  - AWSリソースに対するイベントをトリガーにアクションを実行する機能

#### CloudWatch利用イメージ



#### CloudWatchのメトリックス

#### 標準メトリックス (EC2)

カスタムメトリックス

**CPUUtilization** 

**CPUCreditBalance** 

**CPUCreditUsage** 

**DiskReadBytes** 

<u>DiskWriteBytes</u>

<u>DiskReadOps</u>

<u>DiskWriteOps</u>

NetworkOut

NetworkIn

**NetworkPacketsIn** 

<u>NetworkPacketsOut</u>

StatusCheckFailed Instance

<u>StatusCheckFailed</u>

StatusCheckFailed System

<u>BurstBalance</u>

<u>標準メトリックスでは</u> 収集できないメトリックス



#### Amazon CloudWatch のアクション機能

モニタリング

Memory Free / Filesystem Free

StatusCheckFailed\_Instance
StatusCheckFailed\_System
標準メトリックス
CPUUtilization
DiskReadBytes / DiskReadOps
DiskWriteBytes / DiskWriteOps
NetworkIn / NetworkOut

Mid などをトリガーに

No
CPUUtilization
CPUUtilization
DiskReadBytes / DiskReadOps
NetworkIn / NetworkOut

CloudWatch

#### アクション

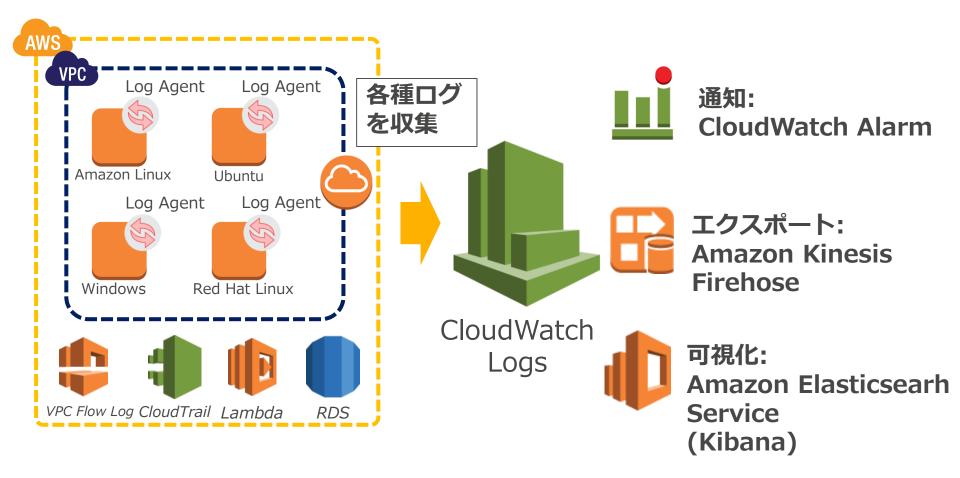


**Notification** 



AutoScaling

# CloudWatch Logs利用イメージ

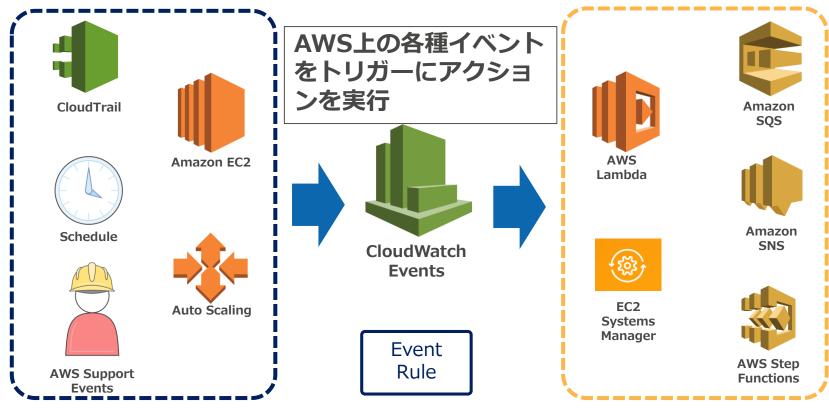


#### ログモニタリングイメージ

ログ内容はタイムスタンプとログメッセージ(UTF-8)で構成



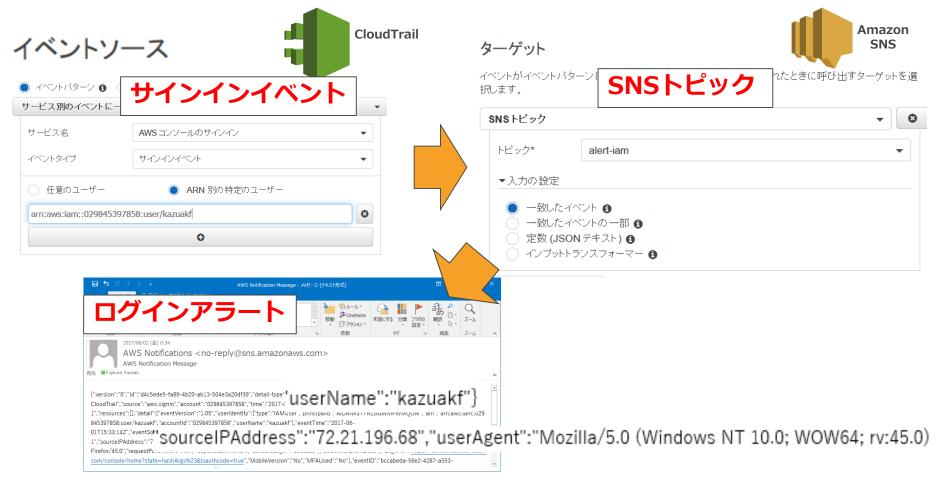
#### CloudWatch Events利用イメージ



**Event Source** 

Target

## 例:コンソールサインイン時にアラートを飛ばす



# Amazon CloudWatchのできる事



- CloudWatch
  - システム監視サービス
    - ✓ 死活監視 / 性能監視 / キャパシティ監視
- CloudWatch Logs
  - ログ管理プラットフォームサービス
    - ✓ EC2上のOS, APPのログ
    - ✓ AWSマネージド サービスのログ
- CloudWatch Events
  - AWS上リソースの状態監視サービス
  - AWSリソースに対するイベントをトリガーにアクションを実行する機能

# Why CloudWatch

1. Pollingモデルから、Pushモデルへ

2. サーバ中心の監視から、**サービスの監視**へ

3. AWSサービスとの連携

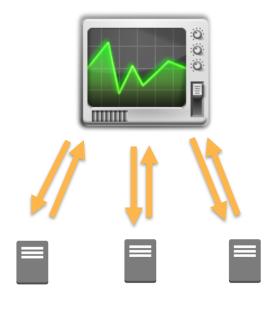
# Why CloudWatch

1. Pollingモデルから、Pushモデルへ

2. サーバ中心の監視から、サービスの監視へ

3. AWSサービスとの連携

## Polling / Push



Before Cloud



### Polling / Push





モニタリングシステムで監視対象サーバの追加

**Before Cloud** 

監視を始めるまでに必要 な作業



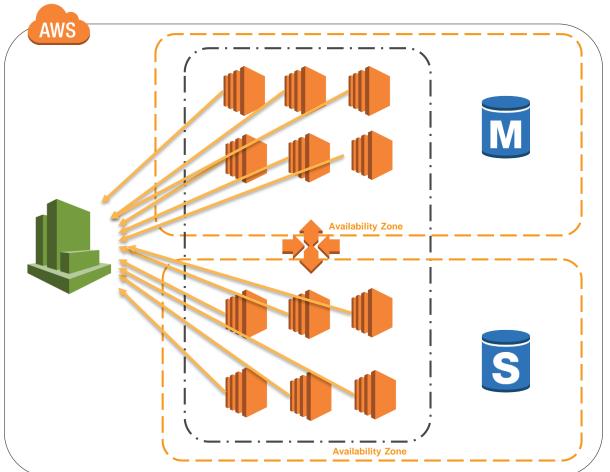


モニタリングシステムで監視対象サーバの追加

Amazon CloudWatch

CloudWatchを利用する と省略できる作業

#### その監視、オートスケールに対応していますか?



- ダイナミックに変化するサーバの監視は、従来のPollingモデルは難しかった
- Pushモデルの監視ソ リューションでは、 オートスケール等のダ イナミックに増減する サーバにも対応可能

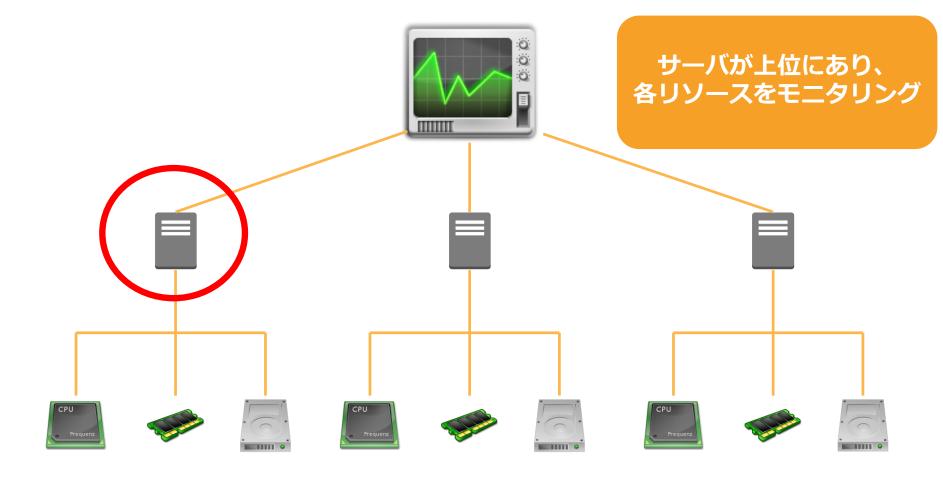
# Why CloudWatch

1. Pollingモデルから、Pushモデルへ

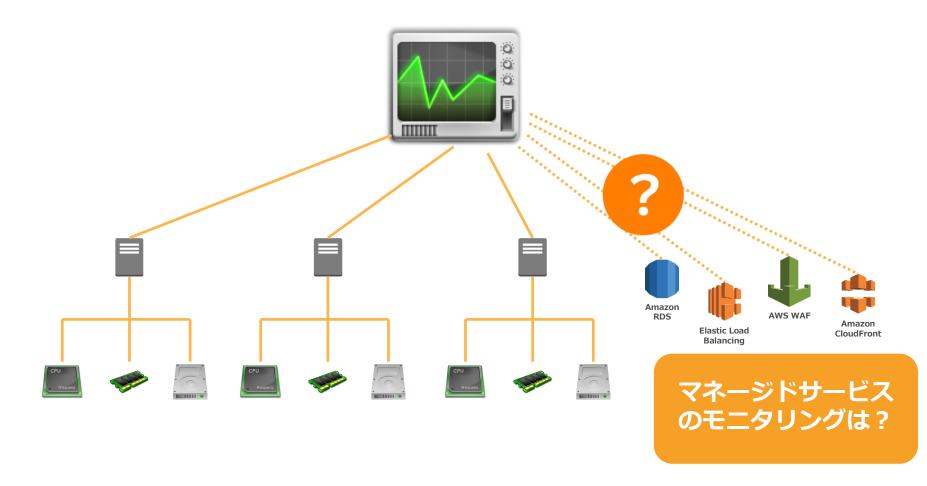
2. サーバ中心の監視から、**サービスの監視**へ

3. AWSサービスとの連携

#### 従来のモニタリングシステム



#### 従来のモニタリングシステム



#### マネージドサービスの場合

アプリケーション最適化

スケール

高可用性

バックアップ

MW パッチ適用

MW インストール

OS パッチ適用

OS インストール

サーバー管理

ラッキング

電源, 空調, ネットワーク

オンプレミス

アプリケーション最適化

スケール

高可用性

バックアップ

MW パッチ適用

MW インストール

OS パッチ適用

OS インストール

サーバー管理

ラッキング

電源, 空調, ネットワーク

On EC2

アプリケーション最適化

スケール

高可用性

バックアップ

MW パッチ適用

MW インストール

OS パッチ適用

OS インストール

サーバー管理

ラッキング

電源, 空調, ネットワーク

マネージドサービス



#### マネージドサービスの場合

アプリケーション最適化 スケール 高可用性 アプリケーション最適化 スケール 喜芸男性

アプリケーション最適化スケール

パッチ適用 / バックアップ / スケールまでお任せのマネージドサービスを活用する事でより付加価値の高い仕事に集中できるクラウドの運用にマネージドサービスの利用は不可欠

サーバー管理 ラッキング 原, 空調, ネットワーク

オンプレミス

サーバー管理 ラッキング , 空調, ネットワーク

On EC2

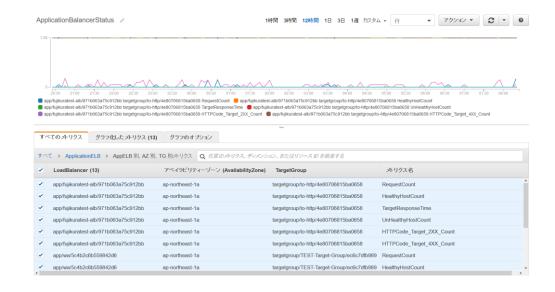
サーバー管理 ラッキング , 空調, ネットワーク

マネージドサービス

#### マネージドサービスの活用にはCloudWatch



40を超えるマネージドサービスが追加の設定無くメトリクスの収集が可能サーバ中心の監視からサービス中心の監視へシフトする事で運用もスケーラブルに



#### CloudWatchに対応するAWSサービス

AWS サービス	名前空間	AWS サービス	名前空間
Amazon API Gateway	AWS/ApiGateway	Amazon EMR	AWS/ElasticMapReduce
Auto Scaling	AWS/AutoScaling	AWS IOT	AWS/IoT
AWS Billing	AWS/Billing	Service	AWS/KMS
Amazon CloudFront	AWS/CloudFront	ˈcs	AWS/KinesisAnalytics
Amazon CloudSearch	AWS/CloudSearch /		AWS/Firehose
Amazon CloudWatch Events	AWS/Events	1	AWS/Kinesis
Assessed Classed NA/a trale 1 and			AWS/Lambda
Amazon CloudWatch Logs	AWS/Logs	10 44 11/2	AWS/ML
AWS Database Migration	45/		AWS/OpsWorks
Service		1/1/	AWS/Polly
Amazon DynamoDB			AWS/Redshift
Amazon EC2	<b>10</b>		AWS/RDS
Amazon EC2 Containe			
AWS Elastic Beanstalk			AWS/Route53
Amazon Elastic Block Sto	(67)	meld Advanced	AWS/DDoSProtection
Alliazoli Elastic Block Sto	MO	azon Simple Email Service	AWS/SES
Amazon Elastic File Systen	MA	Amazon Simple Notification Service	AWS/SNS
Elastic Load Balancing		Amazon Simple Queue Service	AWS/SQS
	Application	<b>Amazon Simple Storage Service</b>	AWS/S3
Elastic Load Balancing	dincers)	Amazon Simple Workflow Service	AWS/SWF
Amazon Elastic Transcoder	6/ElasticTranscoder	AWS Storage Gateway	AWS/StorageGateway
Amazon ElastiCache	AWS/ElastiCache	AWS WAF	AWS/WAF
Amazon Elasticsearch Service	AWS/ES	Amazon WorkSpaces	AWS/WorkSpaces

http://docs.aws.amazon.com/ja\_ip/AmazonCloudWatch/latest/DeveloperGuide/supported\_services.html

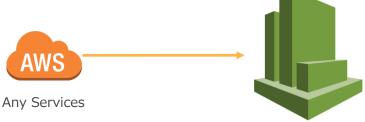
# Why CloudWatch

1. Pollingモデルから、Pushモデルへ

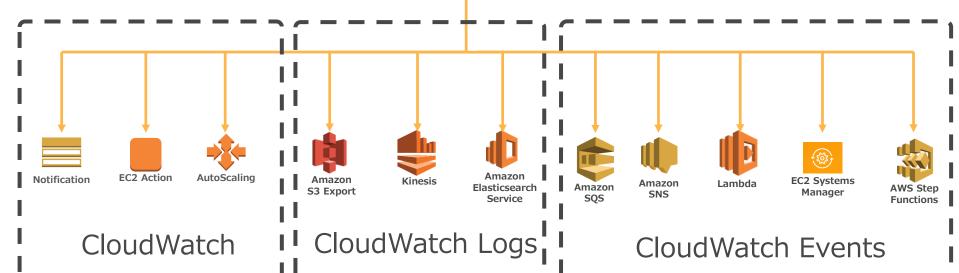
2. サーバ中心の監視から、サービスの監視へ

3. AWSサービスとの連携

# AWSサービスとの連携



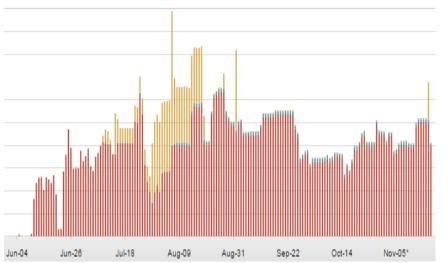
予め定めてある障害対応手順は、サービス連携により **運用の自動化**が可能



# クラウドならではの監視も

# Billingアラーム設定

- 課金状況をCloudWatch監視
- 一定金額を超えるとアラームメール通知が可能
- アラームの設定はVirginiaリージョンから設定





#### Alarm Threshold

Provide the details and threshold for your alarm. Use the graph on the right to help set the appropriate threshold.

Name:	Billing Alarm			
Description:	AWS Billing Alarm			
Whenever charges for: EstimatedCharges is: □>= ▼ USD \$ 100				
	13. [ 1 030 \$ 100			

#### Actions

Notification

Define what actions are taken when your alarm changes state.

+ Notif

Whenever this alarm:	State is ALARM	•	
Send notification to:	Select a notification list	•	New list Enter list 0

ication	+ Auto Scaling Action	+ EC2

This alarm will trigger when the blue line goes



Namespace:	AWS/Billing
Currency:	USD
Metric Name:	EstimatedCharges

# (再掲) Why CloudWatch

1. Pollingモデルから、Pushモデルへ

2. サーバ中心の監視から、サービスの監視へ

3. AWSサービスとの連携

# **Dive Deep CloudWatch**



# (再掲) Amazon CloudWatchのできる事



#### CloudWatch

- システム監視サービス
  - ✓ 死活監視 / 性能監視 / キャパシティ監視

### CloudWatch Logs

- ログ管理プラットフォームサービス
  - ✓ EC2上のOS, APPのログ
  - ✓ AWSマネージド サービスのログ

### CloudWatch Events

- AWS上リソースの状態監視サービス
- AWSリソースに対するイベントをトリガーにアクションを実行する機能

# **Amazon CloudWatch**



### CloudWatch

- システム監視サービス
  - ✓ 死活監視 / 性能監視 / キャパシティ監視

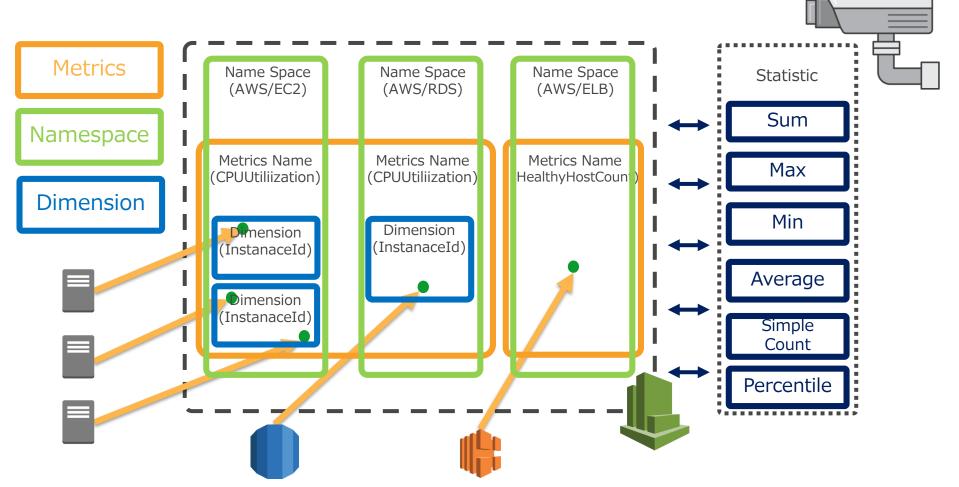
### CloudWatch Logs

- ログ管理プラットフォーム サービス
  - ✓ EC2上のOS, APPのログ
  - ✓ AWSマネジドサービスのログ

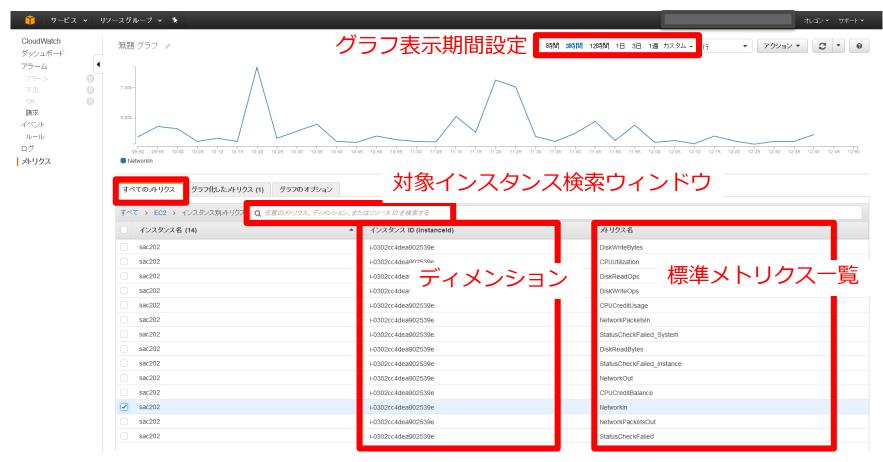
### CloudWatch Events

- AWS上リソースの状態監視サービス
- AWSリソースに対するイベントをトリガーにアクションを実行する機能

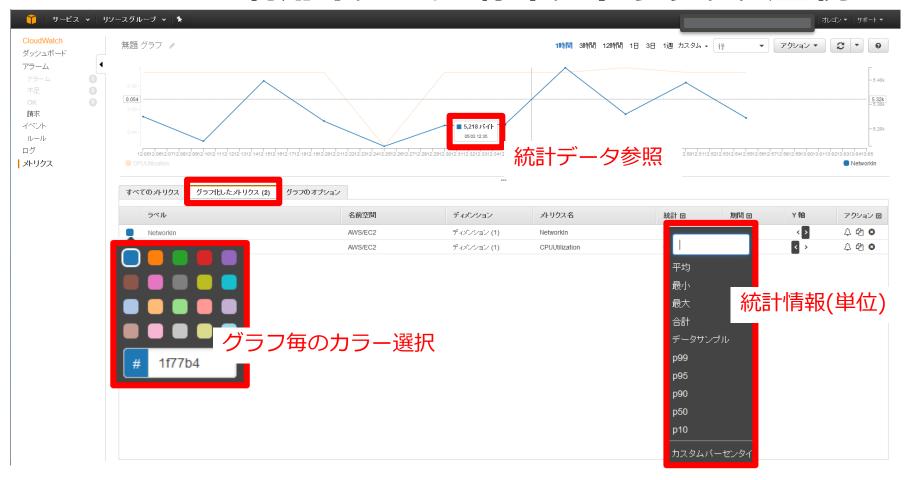
### Amazon CloudWatchの概念



# CloudWatch利用イメージ 標準メトリックス監視



# CloudWatch利用イメージ 標準メトリックス監視



# CloudWatch のメトリックス値

### CloudWatchで取得される情報は統計情報

- メトリックスデータを指定した期間で集約したもの
- それぞれのメトリックスについて適切な統計情報を見る必要がある

## メトリックスデータの保管は15ヶ月まで

• 15ヶ月以上保存する場合は、APIでデータを取得し別の場所に保管しておく(サードパーティ製ツールとの連携も検討)

### データの粒度によって遡って参照できる期間が異なる

- 1分毎のデータポイント:15日間
- 5分毎のデータポイント:63日間
- 1時間毎のデータポイント: 15ヶ月間

### Amazon CloudWatch を使ったアラーム設定

<u>OK</u>

アラーム (Alarm)

<u>不足</u> (INSUFFICIENT)

定義された閾値を 下回っている (正常値) 定義された閾値を 上回っている (異常値) データが不足のため、 状態を判定できない (判定不能)

### Amazon CloudWatch を使ったアラーム設定

<u>OK</u>

アラーム (Alarm)

<u>个足</u> (INSUFFICIENT)

定義された閾値を 下回っている (正常値) 定義された閾値を 上回っている (異常値) データが不足のため、 状態を判定できない (判定不能)

CloudWatch特有のステータス

# INSUFFICIENT\_DATA の考え方

### CloudWatchはデータポイントを基準にステータスを判断

- データポイントとはCloudWatchに送信される値(CPU値など)
- OK / アラーム時は入力されたデータポイントを基準に状態評価
- ・ INSUFFIENT時はCloudWatchにテータポイントの入力が無い状態
- → "INSUFFICIENT"は必ずしも障害を表すステータスではない



# **Amazon CloudWatch Logs**



#### CloudWatch

AWS上で稼働するシステム監視サービス✓ 死活監視 / 性能監視 / キャパシティ監視

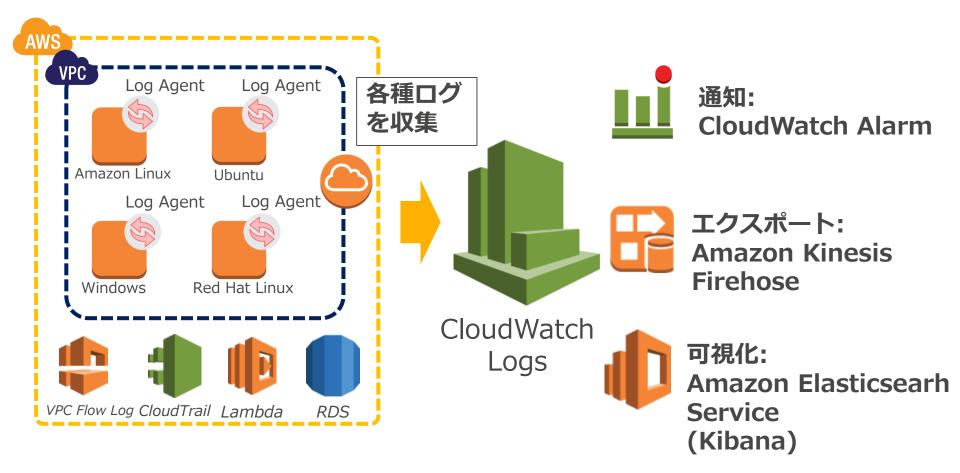
### CloudWatch Logs

- ログ管理プラットフォームサービス
  - ✓ EC2上のOS, APPのログ
  - ✓ AWSマネジドサービスのログ

#### CloudWatch Events

- AWS上リソースの状態監視サービス
- AWSリソースに対するイベントをトリガーにアクションを実行する機能

# **CloudWatch Logs**



### **Use cases**

• ログの長期保存、ストレージの容量削減

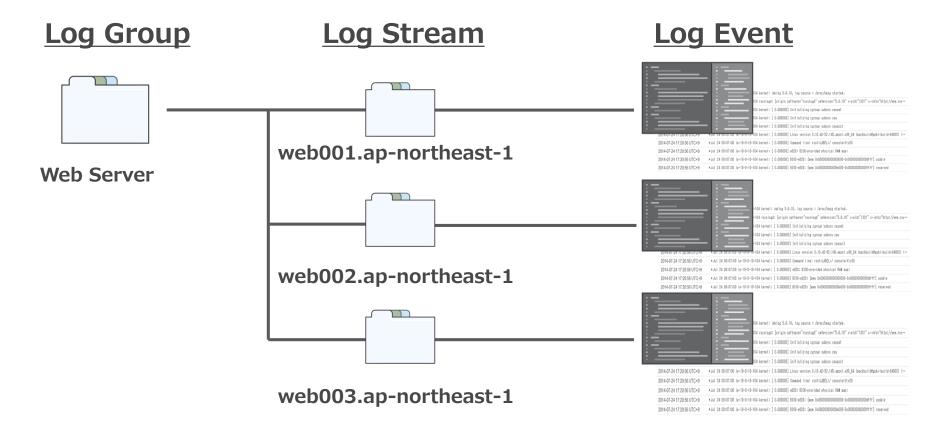


• HTTP responsesのエラー、例外、性能の監視

• ホストにログインせずに障害調査

• セキュリティインシデント対応用の証跡ログとして

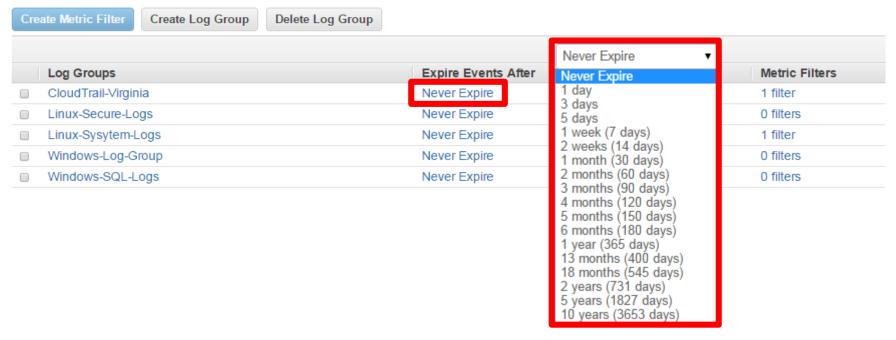
# CloudWatch Logsのログ管理



## ログの保存期間

### CloudWatch Logsはログの保存期間を設定可能

#### Log Groups



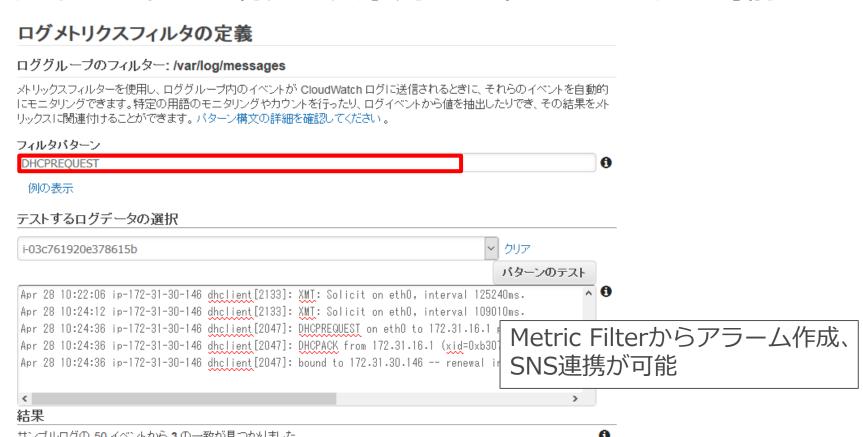
### ログモニタリングイメージ

ログ内容はタイムスタンプとログメッセージ(UTF-8)で構成



# **CloudWatch Logs Metric Filter**

ログイベントから特定の文字列のフィルタリングが可能

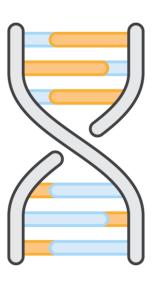


# **CloudWatch Logs Metric filter syntax**

• 文字列の一致

Common log format

JSON



# Metric filters – 文字列の一致

# Filter examples

- Error
- "Invalid user"
- NullReferenceException "main("

#### Notes

- AND検索
- ・ 文字列のグループ化、英数字以外の検索は""囲む
- Metricは出現回数で評価される

# Metric filters - Common log format

### Log examples

[11/Nov/2014:02:00:14 +0000] 10.15.128.6 "GET HTTP/1.1" 200 108 33 "S3Console/0.4" 127.0.0.1 user-identifier frank [10/Oct/2000:13:55:36 -0700] "GET /apache\_pb.gif HTTP/1.0" 200 2326

# Filter example

[Timestamp, IPAddress, Header, HTTPCode=4\*, ...]

### **Notes**

- ・ "" か []で囲まれていない限り、空白文字が区切り文字となる
- 値の抽出が可能

### **Metric filters – JSON**

# Filter examples

```
{$.errorCode = "AccessDenied" || $.errorCode = "UnauthorizedOperation"}
{ $.eventType = "UpdateTrail" }
{ $.sourceIpAdress != 123.123.* }
{ $.arrayKey[0] = "value" }
{ $.objectList[1].id = 2 }`
```

### **Notes**

• {}で囲むとJSONとして評価される

# AWSサービスとの連携

- S3へのエクスポート
- VPC Flow Logs
- Elasticsearch
- ECS
- Kinesis
- RDS拡張モニタリング



## **Amazon CloudWatch Events**



#### CloudWatch

AWS上で稼働するシステム監視サービス✓ 死活監視 / 性能監視 / キャパシティ監視

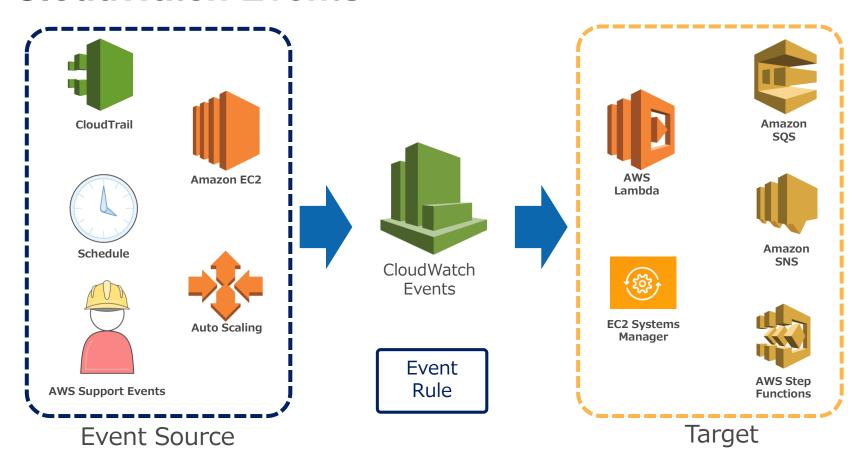
### CloudWatch Logs

- ログ管理プラットフォーム サービス
  - ✓ EC2上のOS, APPのログ
  - ✓ AWSマネジドサービスのログ

### CloudWatch Events

- AWS上リソースの状態監視サービス
- AWSリソースに対するイベントをトリガーにアクションを実行する機能

### **CloudWatch Events**



### イベントソースの選択

### EC2 Instance states change notification

Pending/Running/Shutting down/Stopped/Stopping/Terminated

#### Schedule

- 間隔:分(Minites)/時間(Hours)/日(Days)
- クーロン表記

#### AWS API call

• AWS CloudTrailにより発行されたイベント

# AWS console sign-in

AWS SupportへのCase作成

### **Auto Scaling**

 Launch Successful / Launch Unsuccessful Terminate Successful / Terminate Unsuccessful

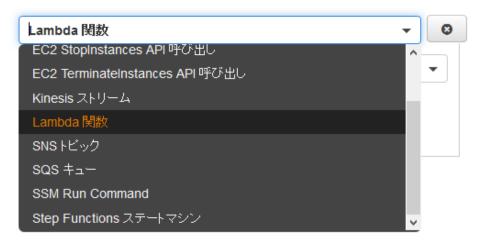
#### ステップ 1: ルールの作成 AWS 環境で発生するイベントに基づいてターゲットを呼び出すためのルールを作成します。 イベントソース イベントバターンを構築またはカスタマイズするか、スケジュールを設定してターゲッ トを呼び出します。 🔵 イベントバターン 🚯 🔵 スケジュール 🚯 サービス別のイベントに一致するイベントパターンの構築 サービス名 EC2 イベントタイプ EC2 Instance State-change Notification 任意の状態 特定の状態 × running ○ 特定のインスタンス shutting-down stopped stopping terminated クリップボード10コピー 編集

# ターゲットの選択

- Lambda Function
- SNS Topic
- SQS Queue
- SSM Run Command
- Step Function StateMachine
- Kinesis Stream
- Built-in target
  - EC2インスタンスの再起動
  - EC2インスタンスの削除
  - EC2インスタンスの停止
  - EBSボリュームのスナップショット作成

#### ターゲット

イベントがイベントバターンに一致するか、スケジュールがトリガーされたときに呼び出すターゲットを選択します。



# (再々掲)Amazon CloudWatchのできる事



#### CloudWatch

- システム監視サービス
  - ✓ 死活監視 / 性能監視 / キャパシティ監視

### CloudWatch Logs

- ログ管理プラットフォームサービス
  - ✓ EC2上のOS, APPのログ
  - ✓ AWSマネージド サービスのログ

### CloudWatch Events

- AWS上リソースの状態監視サービス
- AWSリソースに対するイベントをトリガーにアクションを実行する機能

# まとめ



クラウドシステムの正常・異常を 監視する事ができるマネージド サービス

サービス間の連携により各種サービス、アプリケーションの<u>運用の</u> **自動化**が可能

AWSクラウドにおける運用監視は CloudWatchが最適!

# 本セッションのFeedbackをお願いします

受付でお配りしたアンケートに本セッションの満足度やご感想などをご記入くださいアンケートをご提出いただきました方には、もれなく素敵なAWSオリジナルグッズをプレゼントさせていただきます



アンケートは受付、パミール3FのEXPO展示会場内にて回収させて頂きます

